

胃がん内視鏡治療後地域連携パスについて

- * 基幹病院で内視鏡治療をされた患者さんに対して、お近くの連携医と基幹病院の両方で連絡を取り合い、術後の定期的検診を行っていくために作られた一連の書式（パス）です。
- * これにより、基幹病院への頻繁な通院が不要となり、通院の不便さや外来での長い待ち時間からも解放されます。また、複数の主治医によるサポートが受けられる長所が生まれます。
- * パスについての詳細は「結日記」をご参照ください。

通院の基本

- * 通院の基本は、処方や血液検査など通常の通院は連携医で行い、基幹病院へは原則的に半年～1年に一度、再発有無確認のために受診します。
- * どちらに通院する場合も、このパスを必ず持参してください。
- * 病気が再発したり新たな疾患が発見された場合は、このシステムを中断して基幹病院へ通院していただきます。

患者データ

内視鏡治療時年齢 歳（男、女）

* 内視鏡治療年月日（ 年 月 日）

* 術式：

ESD, その他・備考（ ）

* 部位：

U, M, L, その他・備考（ ）

* 肉眼型：

0-I, 0-II a, 0-II b, 0-II c, 0-III
その他・備考（ ）

* 内視鏡所見・病理学的データ(※)：

進達度	潰瘍	分化型腺癌		未分化型腺癌	
粘膜 m	なし	径によらず		<2cm	>2cm
		<input type="checkbox"/> eCuraA		<input type="checkbox"/> eCuraB	<input type="checkbox"/> eCuraC
	あり	<3cm	>3cm	<input type="checkbox"/> eCuraC	
		<input type="checkbox"/> eCuraA	<input type="checkbox"/> eCuraC		
粘膜下(sm1) (500 μ m以下)		<input type="checkbox"/> eCuraB	<input type="checkbox"/> eCuraC	<input type="checkbox"/> eCuraC	

※ 当てはまる箇所に☑を入れる。

* ヘリコバクター・ピロリ菌感染状態：

- 未検査
陽性除菌未
除菌成功
除菌失敗
陰性
その他(詳細不明など)

参考：

eCuraA; 内視鏡的根治度A
eCuraB; 内視鏡的根治度B
eCuraC; 内視鏡的根治度C